

ふくまる通信 No.1

令和3年6月8日
茨城県・ふくまる推進協議会

安定収量、大粒生産のための適期「中干し」の実施について

令和3年産より、「ふくまる」にイネ縞葉枯病抵抗性を付与した新たな品種「ふくまるSL」に切り替わりましたが、栽培管理はこれまでと同様です。

収量 600kg/10a 以上の確保、千粒重 23.5g 以上の大粒生産、全量 1 等を実現するためには、生育初中期にきちんと茎数を確保し、「コシヒカリ」より生育を旺盛にすることがポイントです。

向こう 1 か月の天候の見通しは、気温は高く、日照時間と降水量はほぼ平年並みの見通しです。適正な茎数確保を確認したら、過繁茂にならないよう速やかに「中干し」を実施して下さい。

○ 開始時期

中干しは、移植後 35 日を開始時期の目安とし、必要な茎数を確保してから始めて下さい。

【茎数から見た「ふくまる」と「コシヒカリ」の中干し開始時期】

	栽植密度 (株/坪)	ふくまる (中食・外食向け)	ふくまる (家庭精米向け)	コシヒカリ
中干し 開始時期	50	<u>26~28 本/株</u>	<u>25 本/株</u>	<u>22~23 本/株</u>
	60	<u>22~23 本/株</u>	<u>21 本/株</u>	<u>18~19 本/株</u>
茎数目標		400~430 本/m ²	380 本/m ²	330~350 本/m ²



写真1: 「ふくまる（中食・外食向け）」中干し開始適期の様子（茎数 430 本/m²）

○ 効果

- ★ 余分な茎数（無効分げつ）の増加を抑えます。
- ★ 地中のガスを抜いてイネの根を健康に保ちます。
- ★ 田面を固めるので、倒伏しにくくなります。また、地耐力が向上し、収穫直前まで通水が行えます。これにより登熟が良くなり、乳白粒の減少や千粒重の向上につながります。

○ 実施期間・程度

- ★ 田面に軽くヒビが入る程度を基準とします（写真2）。
- ★ 中干し期間は概ね 5~10 日程度とし、水持ちの良い水田では強めに、悪い水田では弱めに実施します。



写真2: 中干し終了時期の様子

○ 終了時期の目安

- ★ イネの葉色が少し淡くなってきたら中干しの終了時期です。（カラスケールで 4~4.5）
- ★ 中干し終了後は 3~4 日間隔で入水と自然落水を繰り返す「間断かんがい」を実施しましょう。